

『脂肪肝炎 (NASH) に新規薬剤治験開始』

肝臓川柳

『新薬で 脂肪肝炎 あっち行け』



(あっちいけ・・・あっちいけん・・・あっちけん・・・あ治験・・・)

※ちょっと強引ですが

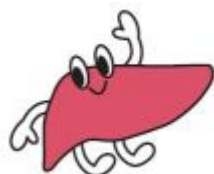
過食や運動不足の現代、メタボリック症候群、
消化器疾患では脂肪肝の患者が急速に増えていますが、
さらにすすんだ脂肪肝炎 (NASH) に対する有効な薬剤は現在のところありませんでした。
しかし！ついに！！来年にかけて、2つの新規薬剤の大規模治験が開始されます。
1つは全くの新規薬剤です。

《すこし難しいですが紹介します》

今回の新規薬剤(『DSP-1747』：ケノデオキシコール酸より合成)は、
⇒胆汁酸の調節にかかわる核内受容体のひとつである FXR という蛋白を強く増やします。
FXR：元来胆汁酸調節の他に多種の代謝に関わる遺伝子を誘導し、
脂肪酸蓄積改善、線維化抑制、炎症抑制を行う。

今回の新規薬剤(DSP-1747)により、FXRが増えて⇒⇒脂肪肝炎の改善効果が期待されています。
動物実験や人初期臨床試験では有効性が確認されています。
脂肪肝炎以外にも幅広くメタボリック症候群の病態を改善させるようです。

当院でも来年より治験に参加することになりました。脂肪肝炎に対する全く新しい治療法として期待されています。



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

脂肪肝炎に対する全く新しい治療法として治験を行うことになりました。
この新規薬剤は胆汁酸の調整にかかわる FXR という蛋白を強く増やします。
この FXR という蛋白は他に脂肪酸蓄積改善、繊維化抑制など様々な働きがあり、
それを新規薬剤で増やすことで脂肪肝炎の改善効果が期待されています。

(文： 福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ッ俣和夫)